

令和8年度

自立支援機器導入実証モデル事業 自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト

本事業は、**製造事業者と仲介者、障害者を雇用している一般企業等がチームを組んで**、実際に支援機器を使用し、実証評価(試用効果や改良の示唆)を行い、その結果を広く周知することにより、支援機器の開発及び普及の加速と**障害者の就労を促進**することを目的といたします。



今年度は
**応募相談・説明会を
5会場で開催予定!!**

北海道(5/18)、宮城(5/19)、
東京(5/21)、大阪(6/2)、福岡(6/4)

※会場及び参加申込は、協会ホームページにて

自立支援機器導入実証モデル事業

(事業名：自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト)

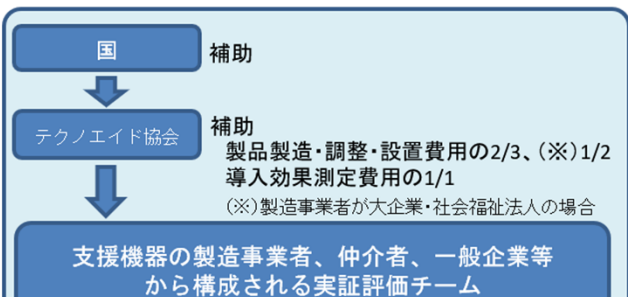
公益財団法人テクノエイド協会・企画部
直通 03-3266-6883

事業の内容

事業の概要・目的

- 障害者の自立支援機器は、障害者の活動や参加、就労を促す極めて有用なものである。
- 一方、障害者の身体状況等は様々であり、ニーズは多様化・複雑化しており、個性が高く、一般的には高価になりがちで、多岐にわたる機器が存在している。
- 本事業では、製造事業者と仲介者、一般企業等がチームを組んで、障害者を雇用している企業等において実際に支援機器を使用し、その実証評価(試用効果や改良の示唆)を行う。
- さらに、その結果を広く周知することにより、就労場面における支援機器利活用の重要性について、普及・啓発するとともに、ニーズを踏まえた機器の開発・改良を支援する。

条件(対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

支援機器の製造事業者、仲介者、一般企業等から
構成される実証評価チーム

製品化された支援機器を活用し、就労場面等で実証評価を実施

支援機器 製造事業者

- ・支援機器を製造・販売している企業や法人格を有する団体



仲介者

- ・障害者の障害特性や使用環境を踏まえた支援機器の適合・調整と、実証評価の計画作成と実施ができる者



一般企業等 実証評価の場 (2か所以内)

- ・既に障害者を雇用(予定を含む)している一般企業や特例子会社等



- ・実証評価チームの公募、実施機関の選定
- ・実証評価結果の集約、動画の制作、普及・啓発 等

障害者の活動や参加、就労を支援する機器・システム(※)

- ・障害者の就労においてコミュニケーション等を円滑にする機器
- ・障害者の在宅等による遠隔就労を可能とする機器
- ・障害者が業務の効率化、円滑化を実現する機器
- ・障害者の就労に関連する通勤や身支度等を支援する機器

(※)一般就労において使用する機器・システム



実証評価の結果 NEW

本事業は、製造事業者と仲介者、障害者を雇用している一般企業等がチームを組んで、実際に支援機器を使用し、実証評価（試用効果や改良の示唆）の結果の一部を紹介します。

また、本事業は「支援機器等導入実証事業（事業名：自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト）」の一環で行ったものです。



「生成AIとスマートグラスを活用した障がい者の就労支援機器」の…



身体感覚に作用する支援機器の活用による知的・精神障害者の就労支援…



重度肢体不自由を有する方の能力の発揮に向けた機器の導入による就労…



倉庫環境におけるモビリティ支援機器導入の効果に関する評価



VUEVO（ビューボ）によるインクルーシブコミュニケーションの実証



白杖歩行支援機器スマートウォークのモニター評価



障害者が安心して仕事に集中できる「calm down 室」の設置

①製造事業者



◎支援機器の製造・改良・調整

②仲介者



◎実証評価の実施
◎適合のポイント、機器改良等のフィードバック

③障害者を雇用している企業等



チームA

チームB

お問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部

担当：香川、佐藤、五島

TEL：03-3266-6883

メール：jissho@techno-aids.or.jp

ホームページ：https://www.techno-aids.or.jp/platform/



障害者のための

支援機器情報
プラットフォーム

